

徳島赤十字病院医学雑誌編集及び投稿規程

[編集]

1. 本誌は広く医学に関する総説・原著・臨床研究・症例報告・統計・業績等で未発表のものを掲載し、年1回以上発行する。
2. 本誌の編集は徳島赤十字病院医学雑誌編集委員会が行う。
3. 本誌に掲載された原稿の著作権は、徳島赤十字病院に帰属する。また、本誌の内容は徳島赤十字病院ホームページ、または赤十字リポジトリ上に公開されるものとする。

[投稿]

〈投稿資格〉

筆頭著者は徳島赤十字病院勤務者および関係者に限る。ただし、編集委員会から依頼した者はこの限りでない。

〈執筆要項〉

1. 簡潔明瞭にまとめること。本文は口語体（である調）とする。できるだけ日本語で表記し、カタカナ表記や英語表記は避ける。
2. 論文の長さは、図・写真を含め、原稿用紙（1枚400字）で総説・原著は30枚、臨床研究・症例報告は15枚をめどとする。図・写真は1枚につき原稿用紙1.5枚に換算する。
3. 論文はパソコン等で入力し、プリントした原稿と一緒に電子媒体で提出する。
4. 論文は次の順序で記載する。
 - 1) 表紙：題名、著者名、所属を和文と英文で併記する。
 - 2) 要旨：400字以内（総説・原著は600字以内）に目的、方法、結果等を和文と英文でまとめること。Key words を3～5個つける。
 - 3) 本文：原著、臨床研究等は次の順序で記載する。

はじめに
対象および、方法
結果（成績）
考察
おわりに
 - 4) 文献：引用順に右肩に文献番号^{1), 2)~6)}を付す。著者が3名以内の場合は全員の名前を記載し、それ以上の場合は最初の3名まで名前を記載し、後は（, 他）または（, et al）とする。電子文献の場合は、著者：タイトル [媒体], URL, [アクセス日] を加える。

例1) 大谷龍治, 日浅芳一, 木下学, 他：中隔枝単独閉鎖による急性心筋梗塞の1例. 心臓 1994 ; 26 : 1134-8

例2) Berland J, Rocha P, Choussat A, et al: Balloon mitral valvotomy by using the Twin-AT Catheter. Cathet Cardiovasc Diagn 1993 ; 28 : 126-33

例3) 日浅芳一, 近藤直樹, 藤永裕之：ロングバルーンの基礎と臨床. 延吉正清, 山口徹編 「Interventional Cardiology における New Device」, 東京：三輪書店 1995 ; p273-82

例4) Open Access Japan : Open Access Japan の創設にあたって [internet]. <http://www.openaccessjapan.com/about.html> [accessed 2010-02-26]
 - 5) 図・表：図（写真）・表は別に添付し、それぞれの表題について、図は下方に、表は上方に記す。それぞれの説明は下方に記す。
 - 6) 数字は「1, 2, 3…」等アラビア数字半角を使う。
5. 原稿の採否や字句の訂正、用語の統一等は編集委員会に一任する。
6. 校正は著者校正1回とする。
7. 掲載料は無料とし、希望する筆頭著者には別冊30部を贈呈する。